

'MADE' 'MADENI' in Japanese and 'DAO' 'YIQIAN' in Chinese

Yukiko Muramatsu

This paper discusses the proper use of 'MADE' and 'MADENI' in Japanese as contrasted with that of 'DAO' and 'YIQIAN' in Chinese.

'MADE' is often equivalent to 'DAO,' but there is no one-to-one correspondence between these two words. When 'MADE' is used to express the continuation of a state, it is equivalent not to 'DAO' but to 'YIQIAN'.

This paper makes clear the correspondent relation of these words and shows why it is difficult for Chinese people to make proper use of 'MADE' and 'MADENI.'

日本語の「まで」「までに」と中国語の「到」「以前」¹⁾²⁾

村 松 由起子

1. はじめに

日本語を学ぶ中国人にとって、時間を限定する表現「まで」「までに」の使い分けは習得するのが難しい文法事項の一つである。実際、上級レベルの学習者でも、

(1) *宿題を完成するまでに寝ない。

のような使い方をする。

「まで」「までに」の使い分けが難しい理由は、寺村 (1983)³⁾ が指摘しているように、日本語の「まで」と中国語の「到」が、そして、日本語の「までに」と中国語の「以前」が、一見、一対一にきれいに対応しているように見えて、実は、「まで」は「以前」とも、そして「までに」は「到」とも対応しているからである。⁴⁾ さらに、

(2) 他到了10点还没起床。

(彼は10時になってもまだ起きない。)

のように、「到」が「まで」以外の表現と対応する場合もある。

本稿の目的は、「まで」「までに」と「到」「以前」について、先行研究に基づきながらそれぞれの用法を整理し、「まで」「までに」と「到」「以前」がどのような対応関係にあるのか、そして、「まで」「までに」の使い分け方と「到」「以前」の使い分け方にはどのような違いがあるのかを明らかにすることである。

中国語の「以前」は、本稿で扱う「まで」「までに」のほかに、「まえ」「まえに」とも対応しているが、本稿では「まで」「までに」との対応関係に限って検討していく。

また、「まで」と「到」については、場所を限定する用法もあるが、本稿では、時間を限定する用法に限って考察していく。

2. 「まで」「までに」

まず、日本語の「まで」「までに」の用法を整理しておく。

「まで」「までに」の用法についての先行研究には、久野(1973)⁵⁾、寺村(1983)などがあるが、「まで」「までに」の類似点、相違点を的確に捉えているという点では寺村の研究が優れており、本稿では、寺村の研究に基づきながら、「まで」「までに」の用法を比較してみたい。

寺村が指摘している「まで」「までに」の相違点は次の2点である。(1,2の番号は筆者による)

1. PマデQでは、Qが「事態の継続」を、PマデニQでは、Qが「事態の生起(発生、消滅、開始、完了の総称として使う)」を表す。
2. PマデニQを使う話し手の本当の関心は、P点以前にQが起るといことよりむしろ、P点以後の事態にあり、PマデQは、そのQという事態がP点で終わり、それ以後は次の(あるいは別の)事態に移行するということを暗示する。

「まで」「までに」を使い分けるとい観点から見ると、2よりも1の違いのほうがより重要であろう。但し、条件文の要件に「まで」「までに」が用いられている場合は、注意が必要である。次の(3)のようにQが事態の継続を表しているのにもかかわらず、「マデニ」が使われるからである。(3)は寺村の例)

(3) *月末マデニ払ワナイト大変ナコトニナル。

(3) が成立しないのは、寺村が述べているように、文の構造が、

(4) [月末マデニ払ワ] ナイト

のようになっていて、「ナイ」は「払ウ」だけを否定するのではなく、「月末マデニ払ウ」全体を否定しているからであろう。⁶⁾

2は「まえに」と「までに」の違いを理解する上で重要な点であるが、本稿では1のみを扱っていく。

3. 「到」「以前」

まず、「到」の用法についてまとめておく。

「現代中国語文法総覧」⁷⁾の「到」の説明をみると、「動作がいつまで続いたかを表す。目的語は必ず時刻を表す語句である。」とあり、例として、

(5) 昨天晚上我们谈到十点半。

ゆうべ私たちは10時半まで話していた。

(6) 我们下午打球，一直打到吃晚饭。

私たちは午後球技をして、晩ごはんまでやり続けた。

があげられている。⁸⁾ (5) (6) はともに「動詞+到+名詞」という語順になっている点に注目したい。「到」と「まで」を比較対照させる上で、この語順の問題は重要なため、以下、語順の違いによって分けて扱うことにする。

「動詞+到+名詞」の形について、「現代汉语八百词」では、⁹⁾

表示动作继续到什么时候。名词为表示时间的词语。动作和‘到’中间一般不能加‘得，不’。

(動作がいつまで継続するかを表す。名詞は時間を表す語である。動詞と「到」の間には一般

に「得，不」は入らない。）

とあり，次の(7)(8)(9)の例があげられている。

(7) 等到明年暑假我再来看你。

(来年の夏休みに私は再びあなたに会いに来る。)

(8) 大风刮到下午两点才停止。

(大風は午後2時になってやっと止んだ。)

(9) 找到天亮还没有找到那个村子。

(空が明るくなるまで探してもまだその村は見つからなかった。)

「到」には「動詞+到+名詞」の形の他に，次の(10)(11)のように「到～動詞」や「从～到～」という形もある。

(10) 每天晚上到12点钟才睡。

每晚12時まで起きています。¹⁰⁾ 〈岩日〉

(11) 从9点到5点在公司里工作。

(9時から5時まで会社で働く。)

(10)の「到」は，「～になる」という意味で用いられており，中国語に忠実に訳せば「每晚12時になったら寝る」となる表現である。(11)は「从～到～」の形で起点と到達点を表している。(11)は「从～到～動詞」という語順であるが，動作の継続を表す場合は(12)のように「从～動詞+到～」となり，「到」は動詞の後に置かれる。

(12) 我从一点睡到3点。

*我从一点到3点睡觉了。

私は1時から3時まで寝た。

この「从～到～」の形に「从～到现在」といういい方があるが，「从～到现在」には日本語との対応で考える場合に問題となる点がある。次の(13)は中国語話者の誤用例であるが，この場合「到现在」は「いままで」とは対応しない。

(13) *私は今年の4月からいままで大学の宿舎に住んでいます。

我从今年四月到现在一直住在大学的宿舍。

「到现在」に対応する日本語の問題については次章で扱うことにする。

次に，「以前」の用法についてであるが，「現代汉语八百词」には，「以前(之前)」の用法として次の1～4があげられている。(「之前」にはこのうちの2, 3の用法があるとしている)¹¹⁾

1. 用如名詞
2. 名詞+以前
3. 動詞/小句+以前
4. 很久(很早)+以前

4つの用法のうち，日本語の「まで」「までに」と関わるのは2と3の場合であり，1と4の名詞や副詞的に用いられる場合については本稿では扱わない。

次の(14)～(18)は小学館の「中日辞典」の「以前」の項にある例文である。

- (14) 去年国庆节以前我还在上海。
去年の国慶節までは私はまだ上海にいた。
- (15) 这以前, 我们从没见过面。
それまで私たちは顔を合わせたことがない。
- (16) 十点以前我不在家, 别来找我。
10時までは家にいないので, 訪ねて来ないように。
- (17) 天黑以前
日が暮れる前
- (18) 你去青岛以前, 一定到我这里来一趟。
チンタオに行く前にぜひ私のところへ一度来てください。

これらの例では「以前」は「まで(は)」「まえ」「まえに」と対応している。では、「以前」は、どのような時間的限定を表しているのだろうか。

「現代汉语八百词」には「現在, または, ある時間よりも早い時間」¹²⁾を表すという説明がある。つまり、「以前」は、基準となる時間よりも前の時間であれば、動作が継続しているのか、それともある状態が存在するのといったことは問題にしない。この点では、日本語の「まで」「までに」が事態の継続を表すのか事態の生起を表すのかによって使い分けられているのとは異なる。そのため、(14)～(18)のように、「以前」と対応する日本語が、「まで(は)」や「前」となる場合もあれば、次の(19)のように「までに(は)」となる場合もある。

- (19) 五点以前回来啊。
5時までには帰っておいで。¹³⁾ 〈岩田〉

以上で、日本語の「まで」「までに」と中国語の「到」「以前」の用法のまとめを終え、以下では、「まで」「までに」と「到」「以前」の用法を比較対照しながら、その対応関係を検討していく。

4. 「まで」と対応する中国語の表現

「まで」と対応する中国語の表現には、次の5つの場合がある。

1. 動詞+到+時を表す語句 (以下、「V到」とする)
2. ～以前… (以下、「以前」とする)
3. 从+時を表す語句+到+時を表す語句 (以下、「从到」とする)
4. 到+時を表す語句+V (以下、「到V」とする)
5. その他(至, 为止などを用いる)

本稿では、「到」「以前」が関わる1～4を考察の対象とする。

1の「V到」の場合の動詞は動作動詞であり、この形は、動作が継続することを表す。この「V到」の形は中国語話者が日本語の「まで」と最も対応させやすい表現であり、一部の例外を省いて、¹⁴⁾

「V到」は「まで」と対応する。次の(20)(21)(22)は、「V到」の例である。

- (20) 等到他来吧。
彼が来るまで待とう。〈岩日〉
- (21) 昨晚工作到很晚。
昨晚は遅くまで起きて仕事をしていた。〈岩日〉
- (22) 喝到深夜
夜ふけまで飲む。〈小日〉

次に2の「以前」の場合であるが、これは、中国語話者にとっては誤用を犯しやすい形である。次の(23)(24)(25)は、この「以前」を「までに」と対応させてしまった実際の誤用例である。

- (23) 作业作完以前，我不睡觉。¹⁵⁾
*宿題を終えるまでに私は寝ない。
- (24) 这张票，10月15日以前有效。
*この切符は10月15日までに有効である。
- (25) 去年春节以前我还在上海。
*去年の春節までに私はまだ上海にいた。

中国語話者が誤用しやすい原因は、「到」と「まで」を、そして、「以前」と「までに」を単純に対応させてしまうからであろう。しかし、(23)(24)(25)では、事態の継続を表している点から「まで」を、基準時点よりも前の時点における事態である点から「以前」を用いなければならない。

さらに、(23)(24)(25)には共通している点がある。それは、「到」を「不睡觉」「有効」「在」の後ろに置くことができないことである。

- (26) *不睡觉到作业作完。
(27) *有效到10月15日。¹⁶⁾
(28) *我在到去年春节。

「有効」「在」は状態であるし、また、否定も状態の一種であると考え、¹⁶⁾「不睡觉」も状態である。状態を表す述語が「V到」の形をとらないというのは、「まで」との相違点として注目できる。「まで」の場合、PマデQのQには、状態を表す語が使用できたのであるが、「到」の場合、「V到」のVには状態を表す語は現われない。次の(29)のように、日本語の「まで」は「始まる」には使えないが、それを否定の形にしたbは状態を表すので成立する。一方、中国語の「到」は、「开始」にもそれを否定の形にしたbにも用いられない。

- (29) a * 音楽会是6時まで始まる。
b 音乐会是6時まで始まらない。
- (30) a * 音乐会开始到六点。
b * 音乐会不开始到六点。

では、中国語の場合、(29)はどのように表現されるのかというと、(31)のように「以前」を用いる。

(31) 音乐会六点以前不开始。

次に、「从到」の場合についてであるが、「从到」には、「从…V到…」の形と「从…到…V」の形がある。(32)(33)は前者の例であるが、この形は先に取り上げた「V到」と同じ用法として扱うことができる。

(32) 从上午九点走到两点才到这目的地。

午前9時から午後2時まで歩いてやっと目的地についた。¹⁷⁾

(33) 他们从清早一直干到太阳落山。

彼らは朝早くから太陽が山に沈むまでずっと働いた。¹⁸⁾

もう一つの「从…到…V」の形をとる例であるが、この形をとる表現は、次の(34)(35)(36)のように一般に「V到」の形にはできない。

(34) 我今天从九点到四点有课。

(私は今日、9時から4時まで授業がある。)

*今天的课从九点有到四点。

(35) 我从晚上九点到早上七点什么东西也不吃。

(私は夜9時から次の朝7時まで何も食べない。)

*我从晚上九点什么东西也不吃到早上七点。¹⁹⁾

(36) 我从去年四月到现在一直住在东京。

(私は去年の4月から現在までずっと東京に住んでいます。)

? 我在东京一直住到现在。²⁰⁾

この形も「到」が「まで」と対応するため、中国語話者にとっては理解しやすい。しかし、この形の場合は、3のところでも述べたが、中国語の「到现在」という表現に関わる誤用がしばしば見られる。先の(13)の例を考えてみる。

(13) *私は今年の4月1日からいままで大学の会館に住んでいます。

(13)は「いままで」としてあるが、「いままで」のほかに、「これまで」を用いる誤用もある。(13)の場合、「現在まで」とするか、あるいは、「～している」が使われているので、(38)のように「到现在」に対応する表現はなくてもよいであろう。

(38) 私は今年の4月1日から大学の会館に住んでいます。

では、日本語の「これまで」「いままで」と「現在まで」の違いは何であろうか。

「これまで」「いままで」と「現在まで」の違いは、発話時が含まれるか否かであると考えられる。次の(39)(40)(41)は「これまで」「いままで」を用いた例であるが、「これまで」「いままで」は発話時を含まないのでタ形は使えるがル形は使えない。

(39) これまでここに住んでいた人たちはどこへ引っ越したのだろうか。

*これまでここに住んでいる人たちはどこへ引っ越すのだろうか。

(40) いままでここにいた。

*いままでここにいる。

(41) いままでテレビを見ていた。

*いままでテレビを見ている。

一方、「現在まで」のほうは、発話時を含むので、(42)のようにル形は使えるが、夕形にすると不自然である。

(42) 現在までここに住んでいる。

*現在までここに住んでいた。

次の(43)は否定の形の場合であるが、「これまで」「いままで」は発話時を含まないので、発話時に実現していることに対しても、発話時以前のことを否定する表現として成立するが、「現在まで」は発話時を含むので、発話時に実現していることを否定することになり矛盾が生じる。

(43) こんなきれいな花はこれまで見たことがない。(発話時には見ている)

こんなきれいな花はいままで見たことがない。

*こんなきれいな花は現在まで見たことがない。

最後に、4の「到V」の場合を検討する。

この場合の「到」は動詞であり、厳密には、「まで」と対応しているのではないが、先の(10)のような例があるので扱うことにする。(10)は、中国語、日本語とも「岩波日中辞典」の例文である。(10)を見た限りでは、「到」と「まで」が対応しているように見える。しかし、先に述べたように、内容を考えると、実際には「到」と「まで」は対応していないことがわかる。

(10) 每天晚上到十二点钟才睡。

毎晩12時まで起きています。

(44) (毎晩12時なってから寝る。)

この用法で、中国語話者が注意しなければならない点は、(10)は

(45) 毎晩12時まで寝る。

ではないということである。「睡」は「寝る」であるため、「到」と「まで」を単純に対応させると(45)のような表現になってしまう。4の「V到」の場合は、単に「到」と「まで」とを対応させるのではなく、基準時点まで継続する内容を考えなければならない。

以上、「まで」と対応する中国語の形式とそれぞれの形式の特徴を考察してきた。「まで」は「到」とのみ対応するのではないこと、また、形式が異なれば、中国語話者にとって問題になる点異なることを明らかにし、「まで」が使われる基準と「到」が使われる基準がどのように異なるのかを検討した。

5. 「までに」に対応する中国語の表現

「までに」は主に中国語の「以前」(「之前」「前」を含む)に対応するが、「到」と対応する場合もある。以下、「以前」に対応する場合と「到」に対応する場合に分けて考察する。

次の(46)(47)は、「までに」が「以前」と対応している例である。

(46) 星期六以前做完。

土曜日までに出来上がる。〈小日〉

(47) 希望年末以前再见一面。

年末までにもう一度おめにかかりたい。²¹⁾ 〈小日〉

このように、基準時点を越えないことを表す場合は「までに」と「以前」の用法が共通している。問題となるのは、次の「までに」が「到」と対応する場合である。先に考察したが、「到」は主に「まで」と対応する。しかし、(48) のような場合では、事態の継続を表していないので「まで」は用いられない。

(48) 到大学毕业要六年了。

大学を卒業するまでに6年かかった。

「6年かかる」というのは、継続する事態ではなく、「大学を卒業する」時点で成立する事態である。一見、時間の継続のように思われるが、「大学を卒業する」時点よりも早い時点では「6年かかる」という事態は成立しない。ただ、(48) の場合は、「までに」が用いられてはいるが、基準時点を越えない時点ならいつでもいいというのではなく、基準時点において事態が生起している。この点で(46) (47) のような「までに」とは異なっている。この基準時点において事態が生起しているということが、中国語で「以前」ではなく「到」が用いられている理由になる。中国語の「以前」は、基準時点を境にその時点よりも早い時点であるときに用いられる。しかし、(48) では、事態が生起するのは基準時点よりも早い時点ではなく、まさに基準時点においてである。(48) のような表現では、事態の継続ではなく事態の生起を表していることから「までに」が使われ、事態が生起する時点が基準時点に限られていることから「到」が使われる。そのため、「までに」と「到」の対応関係が成立するのである。

以上で「までに」と「以前」「到」との対応関係についての考察を終えるが、はじめに述べたように、「以前」は「前に」「前」「うちに」とも対応しており、さらに、「うちに」は「以前」以外の中国語の表現とも対応しているので、時間を限定する表現全体に関わる日本語と中国語の対応関係はかなり複雑であるといえる。

6. 結 び

日本語の「まで」「までに」は、事態の継続を表すか、事態の生起を表すかを基準として使い分けられる。一方、中国語の「到」「以前」は、事態の継続を表すか、事態の生起を表すかによって使い分けられるのではない。「到」には、「V到」の形で表される動作の継続を表す用法も、(48) のように事態の生起を表す用法もある。そして、また、「以前」にも、(23) (24) (25) のように事態の継続（この3例では状態）を表す用法と(46) (47) のように事態の生起を表す用法がある。日本語と中国語の表現を比較対照する場合、本来は単文レベルだけでなく、分脈レベルでの検討も必要だと考えるが、本稿では「まで」「までに」と「到」「以前」の基本的な相違点を明らかにするため、敢

えて単文レベルに限って考察した。

注

- 1) 本稿は平成3年度および4年度学内プロジェクト（中国語話者が効率的に日本語を習得できるようにするための基礎的研究）の一貫として考察した結果である。
- 2) 本稿の（ ）内の日本語訳は筆者によるものである。
- 3) 寺村秀夫 1983「時間的限定の意味と文法的機能」『副用語の研究』明治書院（『寺村秀夫論文集Ⅰ』くろしお出版収録）
- 4) 3) pp.130-131
- 5) 久野暉 1973『日本文法研究』大修館書店 pp.65-67
- 6) 「*そろそろ行かない」とはいわないが、「そろそろ行かないと電車に乗り遅れる」とはいえる。これは、「と」条件表現では、文の構造が
[そろそろ行か] ないと
のようになるからである。
- 7) 相原茂監訳 1991『現代中国語文法総覧（下）』くろしお出版 p.452
- 8) 「到」には他に次の用法がある。
動作が目的に到達することを表す。
事柄、状態が発展、変化して到達した程度を表す。
動作を通じて事物をある場所に到達させることを表す。
詳細は（7）pp.452-453を参照。
- 9) 呂叔湘主編 1980『現代汉语八百詞』商務印書館出版 p.128
- 10) 「岩波日中辞典」「起きる」の項
- 11) pp.543-544
- 12) 原文は「比现在或某一时间早期时间」である。
- 13) 「岩波日中辞典」
- 14) 「等到明年暑假我再来看你」（来年の夏休みに私はまた君に会いに来る）など「V到」の形でも「まで」とは対応しない場合もあるが、この場合動詞は「等」に限られる様である。
- 15) この例文については「不作完作业，我就不睡觉」というほうが自然だと指摘するネイティブもいた。
- 16) (27) については複数のネイティブから、自然さという点ではかなり抵抗があるが、場合によってはいえるかもしれないという指摘があった。
- 17) 「中日辞典」小学館
- 18) 『現代中国語文法総覧（上）』
- 19) *については、複数のネイティブが成立しないとしたが、いえるかもしれないというネイティブもいた。
- 20) ?については、成立しないとしたネイティブもいたが、ほとんどのネイティブからかなり抵抗はあるが場合によってはいえるであろうという指摘があった。
- 21) (46) (47) 「日中辞典」小学館

参考文献

- 久野暉 1973『日本文法研究』大修館書店
興水優 1985『中国語の語法の話』光生館
寺村秀夫 1983『副用語の研究』明治書院（『寺村秀夫論文集Ⅰ』くろしお出版収録）
森田良行 1980『基礎日本語2』角川書店

日本語の「まで」「までに」と中国語の「到」「以前」

刘月华・潘文娉・故韦华 1988『現代中国語文法総覧（上）（下）』くろしお出版
呂叔湘主編 1980『現代汉语八百詞』商務印書館出版
呂叔湘 1982『中国文法要略』商務印書館

〈岩日〉「岩波日中辞典」

〈小日〉「日中辞典」小学館